

憲法擁護
核兵器廃絶
狭山闘争勝利

東京平和運動センター ニュース

NEWS

■ 2015年 7・8月合併号 月1回発行 139号

■ 発行所：東京都港区芝浦3丁目2番22田町交通ビル
東京平和運動センター

■ 発行人：桐田 達也 TEL・FAX 03-5443-4110



戦争への道を許さない東京集会に 2500 名〈6.23 日比谷野音〉

目	次
戦争法案を廃案に追い込み、安倍暴走政権を打倒しよう	2
被爆 70 周年原水爆禁止世界大会	4
戦争犠牲者追悼、平和を誓う 8. 15 集会	5
東京平和運動センター定期総会	6
活動日誌・当面の日程	7

「戦争法案」衆院強行採決糾弾！

「戦争法案」を廃案に追い込み、

安倍暴走政権を打倒しよう

7月15日、自公・安倍政権は多くの国民の不安の声、憲法学者らの違憲指摘などを無視し、衆議院特別委員会での「戦争法案」を強行採決、翌16日には衆議院本会議で強行採決しました。

さらに、国会会期を大幅延長し、参議院の審議未了でも60日条項適用で、何が何でも今国会での成立をもくろんでいます。

この間、私たちは「戦争をさせない1000人委員会」の提起に応え、連日の猛暑の中、国会前を中心とする行動を展開してきました。また、「東京1000人委員会」としても、独自にティッシュビラを作成し、各駅頭での宣伝・署名行動を行い、地域からの声の結集を訴えました。



また、緊張する国会情勢の山場には、「戦争をゆるさない6.23東京集会」を開催、日比谷野外音楽堂に2500名の結集し、法案阻止を訴えました。

安倍政権は、各種世論調査でも明らかなおおりの、確実に国民の支持を失ってきています。その焦りは首相周辺からの「法的安定性は関係ない」「若い人の戦争反対は利己主義だ」などの暴言にもつながっています。戦後70年「首相談話」は歴代談話を引き継ぐとしつつ、何ら主体的表現は発せられず、「侵略」も「反省」も字面だけのもので、現在の安倍政権が進める方向性との矛盾が暴露されたものになっています。逆の目で見れば、安倍総理の歴史認識に基づき企図した「談話」を私たちの闘いが、諦めさせたともいえます。

学者・学生たち、そして各界からの「戦争法案」反対の声と行動が湧き上がっています。

9月の闘いに総結集し、「戦争法案」廃案、安倍内閣打倒まで、全力で取り組みましょう！

2015年7月15日

衆議院特別委員会での戦争法案強行採決に対する抗議声明 フォーラム平和・人権・環境

代表 福山真劫

本日、9時より開催された衆議院の「我が国及び国際社会の平和安全法制に関する特別委員会」において、我が国及び国際社会の平和及び安全の確保に資するための自衛隊法等の一部を改正する法律案（平和安全整備一括法案）および国際平和共同対処事態に際して我が国が実施する諸外国の軍隊等に対する協力支援活動等に関する法律案（国際平和支援法案）を、強行採決した。衆議院本会議での採択も必至である。これらの法案は、アジア太平洋戦争の敗北と日本国憲法の制定から、日本社会が大切にしてきた平和主義の考え方、憲法の前文および9条の理念を踏みにじる「戦争法案」と言えるものであり、決して許されるものではない。平和を愛する全ての仲間とともに、抗議の大きな声を上げる。

世論調査の多くは、市民社会の多数がこの法案に反対であり、その説明が不十分と感じていることを明らかにしている。特別委員会での審



議が進んでいくほどに、「法案に反対」は過半数を大きく超え、

「法案の説明が不十分」との意見は80%を超えた。内閣支持率は低落し不支持が上回ることとなった。市民が法案を支持していないことは明らかである。与野党間の議論は全くかみ合わず、首相や閣僚の答弁は紆余曲折し、法案の目的・内容など全てが不明確だ。法案自体が国会審議に耐えうるものとなっていない。

393の地方議会が反対や慎重審議の意見書を上げている。学者・文化人も同様に反対が圧倒的だ。憲法学者のほとんどがこの法案を違憲だとしている。政府が開催してきた公聴会におい

ても、与党推薦の公聴人からさえ違憲の声が聞かれ、その多くが慎重審議を求めている。何のための公聴会開催であり、地方議会の意見書採択なのか、政府はそのことに真摯に答えなくてはならない。



このような状況の中での強行採決は、民主主義への冒涇であり、憲法理念に反する議会運営である。選挙によって多数を得たからといって、全てが負託されたわけではない。だからこそ委員会審議があり、公聴会があり、意見書の制度が存在する。そしてマスメディアによる報道と世論調査があり、市民の請願行動や示威行動がある。そのことを不問にして、議会運営を数に頼って強引に進める手法は民主主義とは呼ばない。戦後70年の平和への営みを、数の力のみによって強引に変えていくことは、日本の政治の貧困を表している。平和フォーラムは、「戦争をさせない1000人委員会」「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」に結集する多くの仲間とともに、戦後、私たちの手で営々と築き上げてきた平和を、絶対に守り抜いていく。今後、国会審議は参議院へと移っていく。これまでのとりくみをさらに強化し、全国から戦争法案絶対反対の声をあげ続けていく。

安保法制・辺野古新基地建設阻止！
「戦争をゆるさない6.23東京集会」に
2500人が結集
東京の地から沖縄・全国の仲間と連帯して、
「戦争をする国」にさせないことを誓う
6.23 日比谷野外音楽堂

戦争をさせない東京1000人委員会は、「戦争法案」の審議と強行採決が目前に迫り、連日中央行動が配置される中で、6月23日「戦争をゆ

るさない6.23東京集会」を日比谷野外音楽堂で開催しました。

会場には早くから参加者が結集、開会後には2500名の参加が確認されました。

開催された6月23日は「沖縄慰霊の日」であり、集会冒頭、沖縄戦の犠牲となった多くの人々に黙とうを捧げました。

主催者を代表し、「東京1000人委員会」の佐藤代表が、「戦後70年、沖縄慰霊の日を迎え、日本政府は戦前への道に戻ろうとしている。安倍政権の安保法制強行、辺野古新基地建設阻止に向けて闘おう」とあいさつしました。

来賓として、立憲フォーラム・江崎孝事務局長（民主党・参議院議員）、社民党・吉田忠智党首、沖縄平和運動センター・大城悟事務局長、第9次横田基地公害訴訟団・福本道夫代表、戦争をさせない1000人委員会・内田雅敏事務局長が連帯のあいさつを行いました。

沖縄平和運動センターの大城事務局長は「今朝もキャンプシュワブゲート前の阻止行動を行ってから駆け付けた」「今、現地ではオール沖縄で闘っている。今こそ、全国の仲間の連帯と支援を求めたい。全国からの声が、新基地建設を止める」と訴えました。



その後、各団体からの決意表明を受け、集会決議、シュプレヒコールの

後、東京地公労・座光寺副議長の団結ガンバローで閉会しました。集会後参加者は国会前に向かい訴えを行いました。



集会会場カンパを沖縄平和運動センターへ
会場では、沖縄の闘いへの連帯と集会経費にカンパを求めました。結果600,480円を集約。そのうち、400,000円を後日、沖縄平和運動センターにお送りしました。

被爆70周年原水爆禁止世界大会

東京から広島250名、長崎70名参加

福島大会

被爆70周年原水爆禁止世界大会の福島大会が8月1日、いわき市の平中央公園で開催され、福島や東北各県をはじめ、全国各地から850人が参加しました。2011年3月の東京電力福島第1原発事故を機に、毎年福島で開催されて5回目の今年は、事故の避難者が多く暮らすいわき市で初めて開かれました。

主催者を代表し、川野浩一・大会実行委員長（原水禁議長）は、自ら長崎で被爆した経験をもとに「国家による原発被害に対する補償を明確にさせなければならない」と指摘、さらに「事故にも関わらず原発再稼働をめざし、さらに戦争法案を成立させようとする安倍政権に反対し、断固として平和を守ろう」と訴えました。

広島大会



被爆70周年の原水禁世界大会・広島大会はグリーンアリーナ大アリーナ（広島県立総合体育館）に3400人の参加者を得て始まりました。

第17代高校生平和大使だった中村祐理さんの司会で進行されました。犠牲者への黙とう後、主催者あいさつに立った川野浩一・大会実行委員長（原水禁議長）はヒロシマやナガサキの被爆についての認識が風化している問題点を指摘、被爆者がかかえた問題がいまなお多大にあることに加え、安倍内閣による戦争法案制定の動きを強く批判、核兵器廃絶と戦争法案廃案を訴えました。

開会総会に先立ち、東京平和運動センターは平和公園で独自集会を開催するとともに、猛暑

の中、全国の仲間と「折り鶴行進」で会場に向かいました。



長崎大会

被爆70周年原水爆禁止世界大会は、広島大会を引き継ぎ、8月7日から長崎大会が始まりました。長崎ブリックホールで開かれた開会総会には1800人が参加し、原爆投下をもたらした日本が戦争へ歩んだ過ちを安倍内閣のもとで再び繰り返す動きを強めていていることに強い怒りと断じて阻止しようとの声が相次ぎました。



最終日には県体育館でまとめの集会が開催され、11日にも強行されようとしている事態に対し、「川内原発再稼働に反対する特別決議」を採択、大会宣言を確認して終了しました。

その後参加者全員で、爆心地公園までデモ行進、11時02分に黙祷を捧げ、全日程を終えました。

東京平和運動センターは、最終日の早朝、浦上天主堂に隣接する江平公民館の地元犠牲者の慰霊碑を参拝、献花を行いました。



戦争犠牲者追悼、 平和を誓う 8.15 集会

8月15日 千鳥ヶ淵墓苑

8月15日、平和フォーラムが主催する「戦争犠牲者追悼、平和を誓う 8.15集会」が例年の通り、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で開催されました。

戦争法案の強行採決、前日の「安倍談話」発表、当日3閣僚が靖国参拝する中で、戦後70年の特別な意義を持つものとなりました。

12時の時報に合わせて参加者全員で黙祷。

福山共同代表が「私たちは、安倍自公政権の暴走をとめ、憲法に基づく平和・民主主義、脱原発の社会の確立のために、すべての勢力と連帯して、全力で頑張ります。連帯して闘えば、負けることはありません。全力で頑張る私たちをぜひ見守り続けてください。お願いします。」と誓いの言葉を述べました。



東京平和運動センターからも多くの仲間たちが参列、代表して佐藤議長が献花を行いました。

2015年8月15日

安倍談話に対する見解

フォーラム平和・人権・環境
共同代表 福山真劫

安倍晋三首相は8月14日、国際的にも、国内的にも注目をされていた「安倍談話」を閣議決定し、発表しました。

その内容は、予測されていた通りの安倍首相の本質を絵にかいたような薄っぺらな「談話」です。日本が引き起こした侵略戦争と植民地支配は絶対に許されない重大な犯罪という認識もそれに対する真摯なお詫びもありません。それがゆえに、現在、安倍が進めている「戦争する国」路線の修正もなく、不協和音を立て続けている中華人民共和国、大韓民国へのメッセージも弱く、70年を経過するも未解決の日本軍慰安婦や、強制連行・強制労働、日朝国交正常化等への具体的言及もありま

せん。結局、村山談話の本質を改ざんし、「米国の意向」を付度しながらの、安倍自公政権が「現実に推進している政策」を真逆の美辞麗句で覆い隠すものとなっています。

「なんの罪もない人々に、計り知れない損害と苦痛を、我が国が与えた事実」「これほどまでの尊い犠牲の上に、現在の平和がある。これが戦後日本の原点であります。2度と戦争の惨禍を繰り返してはならない。事変、侵略、戦争。いかなる武力の威嚇や行使も、国際紛争を解決する手段としては、もう2度と用いてはならない」「先の大戦への深い悔悟の念とともに、我が国はそう誓いました」と書いています。安倍首相がそう本気で思っているのであれば、なぜ安倍談話の翌日15日に靖国神社に有村、高市、山谷の側近の3大臣が参拝するのか、なぜ戦争法案成立を強行するのか、沖縄辺野古に新基地建設を強行するのか、軍事大国化へ進み続けるのか。なぜ日朝国交正常化に動き出さないのか。

「唯一の被爆国として、核兵器の不拡散と究極の廃絶をめざし」とあります。それではなぜ米国の核の傘に入っているのか、東北アジア非核地帯構想へ踏み出さないのか、プルトニウムを貯め続けるのか。「戦時下で多くの女性たちの尊厳や名誉が深く傷つけられた過去を、この胸に刻み続けます」とあります。なぜ韓国の世論を無視して、日本軍慰安婦問題を「解決済み」とするのか。

「暴力の温床ともなる貧困とも立ち向かい」とあります。なぜ世界の貧困・差別の構造に立ち向かわずに、「自衛隊派兵の戦争法案」なのか、なぜ国内で貧困と格差社会推進の政策をとり続けるのか。

安倍首相は、当日の記者会見冒頭に「政治は歴史から未来への知恵を学ばねばなりません」と述べました。いったいどんな知恵を学んだのでしょうか。「安倍談話」の衣の下から見えてくるものは歴史認識を修正し、戦争する国をめざして、戦争法案を強行し、沖縄への新基地建設を強行し、日本軍慰安婦課題、強制連行・強制労働課題、日朝国交正常化の先送りです。何も学んでいません。こうした安倍政権の暴走は、絶対に許せません。フォーラム平和・人権・環境は、平和・民主主義・憲法理念の実現・脱原発社会めざして、安倍自公政権と対抗して全力で取り組みます。

2015年度 東京平和運動センター定期総会開催 5.27 東交会議室

東京平和運動センターは5月27日、東交大会議室において、代議員62名が出席して開催しました。

宮崎副議長が司会し、総会議長には全水道・東水労の金丸代議員を選出して開会しました。

冒頭、佐藤議長が一年間の活動を振り返り、当面する安保法制阻止、辺野古新基地建設反対、狭山事件の再審無罪の取り組みなどをともに戦い抜く決意を述べました。



来賓として、平和センター関東ブロック連絡会の小原事務局長（神奈川）が、全国の闘いと神奈川の取り組みを紹介し、連帯のあいさつを行いました。

活動報告、決算および監査報告を承認し、15年度活動方針、予算が提案されました。

代議員からは、辺野古新基地建設、高校生平和大使、教科書採択問題、狭山事件の取り組み、横田基地とオスプレイ配備、戦後70年を迎えて次世代に引き継ぐ課題の重要性など6名から発言がありました。桐田事務局長はこれらの発言を取り入れながら、運動の推進を図るとし、全体で方針を確認しました。

その後、新役員の選出、大会宣言を確認して閉会しました。

戦争をさせない東京1000人委員会総会

東京平和運動センターに引き続き、東京地公労の代表も加わり、戦争をさせない東京1000人委員会の総会を開催しました。

昨年の5月に発足して以来、署名行動や日比谷公会堂での「戦争をゆるさない東京集会」の取り組みなどを報告し、引き続き全国の仲間とともに闘う方針を確認しました。

2015年度 東京平和運動センター役員

議 長	佐藤 光夫	私鉄東京連絡会
副 議 長	若林 克俊	三多摩平和運動センター
"	宮崎 昌治	東交
"	関 久	個人会員
事務局長	桐田 達也	自治労東京
" 次長	本橋 益男	個人会員
常任幹事	中條 貴仁	自治労東京
"	石川 雅通	私鉄東京連絡会
"	高橋 敏行	全水道・東水労
"	土井 彰	東京教組
"	富崎 豊和	都高教
"	泉 尚巳	全農林関東・東京
"	鎌田 博一	国労東京地本
"	長谷川 三郎	部落解放同盟東京都連
"	高橋 フミ子	I 女性会議
"	塩田 忠	自治退東京
	田中 泰伸	三多摩平和運動センター
会計監査	大森 直史	全国一般・東京一般労組
"	高塚 昌宏	日本放送労働組合技術系列
相 談 役	本郷 真一	元東京平和運動センター議長

活動日誌

- 05. 27 東京平和運動センター定期総会
- 05. 27 戦争をさせない東京1000人委員会総会
(18:00東交会議室)
- 05. 30 「反核燃の日」全国集会(青森市内)
- 06. 01 つくる会系教科書採択反対全国集会
(18:00～東京・連合会館)
- 06. 14 戦争をさせない・9条壊すな総がかり国会
包囲行動
- 06. 15～24 戦争をさせない・9条壊すな総がかり
連続座り込み行動(国会周辺)
- 06. 23 戦争を許さない東京集会
(18:00日比谷野音)
- 06. 24 戦争をさせない1000人委員会集会
(星陵会館)
- 06. 24 戦争をさせない・9条壊すな総がかり総
力結集国会包囲行動
- 07. 01 平和フォーラム 拡大運営委員会
- 07. 02 「戦争法案反対！国会前木曜連続行動」
(第7回) (18:30～国会周辺)
- 07. 03 東京平和運動センター常任幹事会
(16:00 東交会議室)
- 07. 09 戦争法案反対！国会前木曜連続行動
(第8回) (18:30～国会周辺)
- 07. 14 戦争法案反対！日比谷集会 (18:30～
日比谷野外音楽堂)
- 07. 15 **戦争法案衆院特別委員会強行採決**
- 07. 16 **戦争法案衆院本会議強行採決**
- 07. 16 戦争法案反対！国会前木曜連続行動
(第9回) (18:30～国会周辺)
- 07. 23 戦争法案反対！国会前木曜連続行動
(第10回) (18:30～国会周辺)
- 07. 26 戦争させない・9条壊すな！総がかり
行動国会包囲行動 (14:00～国会周辺)
- 07. 28 戦争法案反対！日比谷集会
(18:30～日比谷野外音楽堂)
- 07. 30 戦争法案反対！国会前木曜連続行動
(第11回) (18:30～国会周辺)
- 08. 01 被爆70周年原水禁世界大会福島大会
(いわき市)
- 08. 04～06 被爆70周年原水禁世界大会広島大
会 (広島市)
- 08. 07～09 被爆70周年原水禁世界大会長崎大

会 (長崎市)

- 08. 13 戦争法案反対！国会前木曜連続行動
(第13回) (18:30～国会周辺)
- 08. 14 戦後70年東アジアフォーラム—過去・
現在・未来 (13:00～日本教育会館)
- 08. 15 戦争犠牲者追悼・平和を誓う集会
(11:55～千鳥ヶ淵戦没者墓苑)
- 08. 20 戦争法案反対！国会前木曜連続行動
(第13回) (18:30～国会周辺)
- 08. 27 戦争法案反対！国会前木曜連続行動
(第14回) (18:30～国会周辺)

今後の日程

- 09. 03 戦争法案反対！国会前木曜連続行動
(第15回) (18:30～国会周辺)
- 09. 10 戦争法案反対！国会前木曜連続行動
(第16回) (18:30～国会周辺)
- 09. 12 辺野古新基地建設反対国会包囲ヒュー
マンチェーン (14:00～国会周辺)
- 09. 14～18 国会前座込み行動 (13:00～17:
00 国会正門前)
- 09. 16 狭山東京実行委員会 (15:00 東交
会館)
- 09. 16 東京平和運動センター常任幹事会
(16:00 東交会議室)
- 09. 17 戦争法案反対！国会前木曜連続行動
(第17回) (18:30～国会周辺)
- 09. 23 さようなら原発全国集会 in 東京 (代々
木公園)
- 09. 24 戦争法案反対！国会前木曜連続行動
(第18回) (18:30～国会周辺)
- 09. 26 JCO 集会 〈詳細未定〉
- 10. 04 横須賀原潜母港港化阻止集会 (詳細未定)

10. 25 横田基地オスプレイ配備反対集会

東京平和運動センター・三多摩平和運動セン
ター主催で幅広い団体に呼びかけた集会の準
備を進めています。日時、場所は下記の通り。

日 時 10月25日(日) 13:30～
場 所 多摩川中央公園
(JR 青梅線 牛浜駅 10分)